

令和7年度 第6回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和7年9月4日（木） 午後7時00分～午後8時30分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

＜委員12名＞

板倉小夜子（会長）、稲垣雅子（副会長）、安藤孝之、伊藤和夫、伊藤圭一、大塚昌義
鈴木雄也、富永英明、鳥居信宏、成瀬初恵、増田尚子、渡邊さとみ

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、岡本拓也（担当長）、山本悟（主査）、
平井一輝（主事）

＜傍聴人3名＞

■欠席者

＜委員1名＞

柳井清一郎

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）「商業」に関する課題等について

4 連絡事項

5 支所長あいさつ

6 閉会

【内容】（要約）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

前回の会議での質問とグループディスカッションのまとめを、資料に基づき事務局が説明。

(1)「商業」に関する課題等について

〈主な意見〉

- ・「自分たちの生活にとっての商業」と「地域を盛り上げていくための商業」があり、それぞれの視点で考えていく必要がある。
 - ・地域の中でも利用する店と、全然利用しない店がある。新しくお店ができていても、あまり地域住民は知らないことが多いのかもしれない。
- 地域住民がもっと地元のことを知らないといけないのではないか。ご飯を食べに行くなど、地域住民が地元のお店を優先的に利用するなどにより、地域をどう支えていくか、地域の中でどう経済を回していくかがまずは大切なことだと思う。
- ・特産品を作ったり、一過性のイベントをやるよりも、自分たちが生活していく中でなくなったら困るというものをどう確保していくか考えていく必要がある。
- 旭にとってなくなったら困るものはお米だと思う。米の価格高騰などもある中で、農業を守っていくことも必要。
- 例えば地域団体が行ってきた米作り体験や、地域の中でいろいろな生産者がいるので、自分に合ったお米を見つける米の食べ比べをやることなども面白いと思う。
- ・他の市町をモデルにしたらどうか。観光客の誘致や外からのお客さんの確保をするためには、大きな駐車場が必要になってくる。
 - ・人を呼び込むための宣伝をする。 など

4 連絡事項

(1) 「持続可能な地域運営研修会」の開催について

参加希望の方は旭支所まで申込み

(2) 旭地区わくわく事業団体に関わるイベント「地域と学校」の案内

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後8時30分 令和7年度第6回旭地域会議終了 —